

科目名	日本語概説	英語科目名	Outline of Japanese language	
開講年度・学期	平成２８年度前期	対象学科・専攻・学年	全専攻　１年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	２単位	単位種類	学修単位（講義Ｂ・演習）	
担当教員	柴田　美由紀	居室（もしくは所属）	テクノ棟４階	
電話	内線１７２	E-mail	miyuki-s@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標		授業到達目標との対応		
		小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標（JABEE）	JABEE 基準
１．専攻科生・社会人として必要な日本語表現法の知識を獲得し、それらを場面に応じて運用できる。		⑥	E	f
２．実践的訓練を通じて、口頭や文章における的確で論理的な表現力を身につけ、積極的に提案し説得できる。		⑥	E	f, d-4
３．チームを組んでディスカッションやディベートに取り組むことにより、協調しながら計画的に物事を進めることができる。		②	B	h, i
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標１－３：提出物、発表によって評価する。				
評価方法				
提出物 50％程度、発表 50％程度で評価する。				
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
１．ガイダンス、パラグラフライティング①パラグラフとは		伝え合う力の自己診断と目標の設定		４
２．パラグラフライティング②総論のパラグラフの組み立て方		ライティングの予復習、ディスカッションの資料収集		４
３．パラグラフライティング③１つのトピックだけを述べる		ライティングの予復習、ディスカッションの資料収集		４
４．パラグラフライティング④要約文で始める		ライティングの予復習、ディスカッションの資料収集		４
５．パネルディスカッション①…準備		ディスカッションの資料整理		４
６．パネルディスカッション②…討論、総括		ディスカッションレポート作成、プレゼンの資料収集		４
７．企画プレゼンコンテスト①…準備		プレゼンの資料収集・整理とスライド作成		４
８．企画プレゼンコンテスト②…準備		プレゼンの資料収集・整理と原稿作成		４
９．企画プレゼンコンテスト③…発表		プレゼンの資料収集・整理と質疑応答の準備		４
１０．企画プレゼンコンテスト④…発表、総括		プレゼンのレポート作成、ディベートの資料収集		４
１１．ディベート（単独反駁形式）①…準備		ディベートの資料収集とリンクマップ作成		４
１２．ディベート（単独反駁形式）②…準備		ディベートの資料整理と試合準備シート作成		４
１３．ディベート（単独反駁形式）③…試合		ディベートの立論執筆と反駁準備		４
１４．ディベート（単独反駁形式）④…試合、総括		ディベートのレポート作成		４
１５．全体の総括		伝え合う力の自己診断と今後の課題の確認		４
自学自習時間合計				60
キーワード	パラグラフライティング、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート			
教科書	「Ｓメソッドによる伝え合う力のトレーニング」（オリジナル教材）及びプリント教材を配布			
参考書	「論理が伝わる『書く技術』ーパラグラフライティング入門」（倉島保美　講談社ブルーバックス）			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目		国語、文学		
現学年の関連科目		なし		
次年度以降の関連科目		なし		
連絡事項				
授業前半ではレポートや論文を論理的にわかりやすく「書く」ためのトレーニングを、後半では研究発表や議論の場で説得力をもって「話す」ためのトレーニングを行います。「最後は表現力」とは多くの先輩たちから漏れ聞こえてくる言葉です。泳げるようになるには水の中に入って泳いでみるしかないように、表現力を高めるには実際に表現してみるしかありません。「とりあえずやってみよう」という姿勢を持つだけで、自分の中に嬉しい変化が生じてきます。				
シラバス作成年月日	平成２８年３月９日			